

事業シート(令和4年度決算)

事業名	20900 総合計画推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	着実な計画の推進	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 持続可能な地域づくりの実現のために観光振興を活用します 若者の自主的、主体的な取り組みを支援します 心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ いつまでも住み続けることができる環境を整備します
			款	2	総務費		まちづくり戦略			
			項	1	総務管理費	根拠計画	過疎地域持続的発展計画			
			目	9	企画費					
担当課	総合政策部 総合政策課	内線	2434							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画に基づく計画的な行政運営を着実に推進する。</li> <li>近隣自治体と連携して共通する課題に取り組む。</li> <li>年齢、性別、障がいの有無などに関わらず誰もが安心して暮らせる環境を整える。</li> <li>地方創生を推進する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>第九次総合計画の策定を行う。</li> <li>市民アンケート、事業評価、実施計画ローリング等により総合計画の進捗管理を行う。</li> <li>県及び飛騨3市1村が連携して飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会事業を実施する。</li> <li>ユニバーサルデザインに配慮された施設の認定や啓発資料の活用等により、誰にもやさしいまちづくりを推進する。</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じている市民の割合	56.3%	52.1%	↗
誰にもやさしいまちづくり条例に基づく認定件数(累計)	75件	81件	100件
事業評価の実施	373事業	375事業	—

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3		R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	14,407	11,977	15,886	15,886	11,736	△ 241
特定財源						
国費( )						
県費( SDGs推進事業費 1/2 )	2,500	1,500	3,300	3,300	2,382	882
その他( )						
一般財源	11,907	10,477	12,586	12,586	9,354	△ 1,123
個票枝番	主な事業内容					
	総合計画の推進	479	323	474	317	△ 6
◎ 1	SDGsの推進	5,000	3,046	6,600	5,054	2,008
	飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会負担金	7,900	7,801	7,900	5,029	△ 2,772
	政策立案に向けたたかやま共創ミーティングの開催					
	政策コーディネーターの設置					
	城跡を活用したまちづくりに向けた調査					
	若者の自主的な活動に対する助成					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		33,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
40,840	27,660	34,620	18,734	
2,500	2,200	2,200	△ 1,100	
38,340	25,460	23,420	10,834	
査定額	説明			
10,634				
4,400				
7,900				
200				
3,600				
5,000				
2,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画審議会の開催(1回)、市民アンケートの実施、事業評価の実施、第八次総合計画実施計画・財政計画のローリングの実施</li> <li>飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会事業に26,223人が参加・来場</li> <li>誰にもやさしいまちづくり推進指針の見直しについて、市議会総務環境委員会へ協議・報告、誰にもやさしいまちづくり推進会議の開催(1回)</li> <li>市内小学6年生を対象に誰にもやさしいまちづくり学習資料を作成・配付</li> <li>総合教育会議の開催(2回)、児童生徒等の重大事態調査委員会の開催(1回)</li> <li>SDGs未来都市の選定を受け、SDGs未来都市計画を策定、啓発資料を作成</li> <li>高山駅西地区のまちづくりについて、方向性等をとりまとめ、市議会委員会へ協議</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業の進捗状況や新型コロナウイルス感染症の影響をふまえ、実施計画のローリングを行うことができた。</li> <li>法令の改正に伴い、高山市誰にもやさしいまちづくり条例の一部改正を行うことともに、推進指針の見直しに向けて、推進会議等と協議をすませ、改正の目的を立てることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第八次総合計画及び各種計画に掲げる施策の着実な推進を図る。</li> <li>高山駅西地区のまちづくり構想(仮称)の策定を進める。</li> <li>SDGs未来都市計画に基づき、市内におけるSDGsの推進を図る。</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画審議会の開催(1回)、市民アンケートの実施、事業評価の実施、第八次総合計画実施計画・財政計画のローリングの実施</li> <li>飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会事業に22,591人が参加・来場</li> <li>誰にもやさしいまちづくり推進指針の見直し、誰にもやさしいまちづくり推進会議の開催(1回)</li> <li>市内小学6年生を対象に誰にもやさしいまちづくり学習資料を作成・配付</li> <li>総合教育会議の開催(2回)、児童生徒等の重大事態調査委員会の開催(1回)</li> <li>飛騨高山SDGsパートナーシップセンターの設立、飛騨高山SDGsパートナー登録制度の創設・パートナー登録事業者の情報発信・マッチング支援の実施</li> <li>高山駅西地区における施設整備の方向性を含めたまちづくり構想を策定</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業の進捗状況や新型コロナウイルス感染症の影響をふまえるとともに、新たな市長公約に即した実施計画のローリングを行うことができた。</li> <li>社会情勢の急激な変化やニーズの多様化、SDGsなどを踏まえ、ひと・もの・しくみなどすべてがやさしいまちづくりを視点として、誰にもやさしいまちづくり推進指針を見直すことができた</li> <li>多様化、複雑化する行政課題に対し、行政(市)だけではなく、市民、団体、事業者などとともに政策をすすめるしくみづくりが必要となっている</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第八次総合計画及び各種計画に掲げる施策の着実な推進を図る。</li> <li>第九次総合計画の策定を進める。</li> <li>SDGs未来都市計画に基づき、市内におけるSDGsの推進を図る。</li> <li>高山駅西地区まちづくり構想に基づく取組みの推進を図る。</li> <li>共創まちづくりという新たな考え方のもと、まちづくりに参加、参画してみたいと感じていただけのしくみの検討を進める。</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>第九次総合計画策定に向けた準備に必要な経費を計上</li> <li>高山駅西地区のまちづくりの推進に必要な経費を計上</li> </ul>
財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> <li>高山駅西地区のまちづくりの推進に必要な経費は別事業で予算化</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>政策立案に向けた共創ミーティング、若者活動支援、城跡を活用したまちづくりに向けた調査について必要な経費を計上</li> </ul>

## 主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	20900 総合計画推進事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	会計	1	一般会計	担当課	総合政策部 総合計画策定室
			<input type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	2		
枝番・内容	1 SDGsの推進		<input checked="" type="checkbox"/> その他重要事業		項	1	総務管理費	内線	2437
			<input type="checkbox"/>		目	9	企画費	作成年月	R5.8

## 事業の目的・概要(Plan)

目的	・豊かな自然資源と歴史的な文化資源の活用により、地域経済の発展と持続可能性を高め、国内外から愛されるまち(国際観光都市)を目指す	概要	・多様なステークホルダーとの連携、自立的好循環の具体化に向けた取組、将来的な自走に向けた取組の実施
----	--	----	---

## 【参考】R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	0
	補正等	5,000
	最終	5,000
決算額		3,046
対前年度増減額(決算)		3,046

## 【参考】R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	6,600
主な経費	・SDGsの普及・啓発に係る経費	
	・推進アドバイザーに対する謝礼	
	・シンポジウムの開催に係る経費 等	
対前年度増減額(当初予算)		6,600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

## R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	6,600
	繰越	
	補正等	
	最終	6,600
決算額		5,054
対前年度増減額(決算)		2,008

## R5当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	4,400
主な経費	・SDGsの普及・啓発に係る経費	
	・推進アドバイザーに対する謝礼	
	・ウィークの開催に係る経費 等	
対前年度増減額(当初予算)		△ 2,200

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs未来都市計画の推進に向け、SDGsの積極的展開を行う啓発資料の作成 私なりのSDGs宣言の普及促進 など</li> </ul>	
<p>※2月に設立予定としていた飛騨高山SDGsパートナーシップセンターは、新型コロナウイルス感染症の影響により延期</p>	
[評価等]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私なりのSDGs宣言を募集しHPで公表するとともに、宣言の内容の映像を作成し、ケーブルテレビや市公式Youtubeで配信することで、多様な主体の様々な取り組みを共有することができた。</li> <li>・市民へのSDGsに対する意識向上を図るため、ポスターやリーフレットなどの啓発資料を作成した。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsパートナーシップセンターを核としてさらなるSDGsの展開を行う。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs未来都市計画に掲げる3側面「経済」「環境」「社会」と繋ぐ飛騨高山SDGsパートナーシップセンターを核とした様々なステークホルダーと連携した取組みにより、SDGsの積極的展開を行う</li> <li>研修・セミナー、シンポジウムの開催</li> <li>啓発資料の作成</li> <li>私なりのSDGs宣言の普及促進 など</li> </ul>	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs未来都市計画の推進に向け、SDGsの積極的展開を行う</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>私なりのSDGs宣言の普及促進</li> <li>飛騨高山SDGsパートナーシップの設立</li> <li>飛騨高山SDGsパートナー登録制度の創設・登録事業者への支援</li> <li>SDGsウィーク・フォーラムの開催</li> <li>SDGs教育コンテンツの制作 など</li> </ul>	
[評価等]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨高山SDGsパートナーシップセンターを設立し、今後のSDGsを推進するための取り組みの方向性等を検討することができた。</li> <li>・飛騨高山SDGsパートナー登録制度を創設し、登録事業者の取組み等の情報発信支援や登録事業者の困りごとを解決するマッチング支援のしこみを構築することができた。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内におけるSDGsの達成に向けた活動が活発化するとともに、それぞれの活動のさらなる連携につながるよう引き続き取り組み。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs未来都市計画に掲げる3側面「経済」「環境」「社会」と繋ぐ飛騨高山SDGsパートナーシップセンターを核とした様々なステークホルダーと連携した取組みにより、SDGsの積極的展開を行う</li> <li>SDGsパートナー登録制度による支援</li> <li>SDGsウィークの開催</li> <li>啓発番組の制作</li> <li>私なりのSDGs宣言の普及促進 など</li> </ul>	
[スケジュール]	



## 主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	20930 大学連携推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	会計	1	一般会計	担当課	総合政策部 総合政策課
枝番・内容	1 大学連携センターに対する助成		<input checked="" type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		2	総務費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	1	総務管理費	内線	2434
			<input type="checkbox"/>		目	9	企画費	作成年月	R5.8

## 事業の目的・概要(Plan)

目的	・豊かな自然資源と歴史的な文化資源の活用により、地域経済の発展と持続可能性を高め、国内外から愛されるまち(国際観光都市)を目指す	概要	・飛騨高山大学連携センターの運営に対する助成 ・産学金官連携による新製品開発等に対する助成(市内中小企業者等が大学等や金融機関と共同で行う新製品又は新サービスの研究開発) ・大学等のゼミ合宿に対する助成(市内で行われる大学等の調査研究のために行う演習(ゼミナール)や研修会、スポーツ活動や文化活動等の練習活動)
----	--	----	---

## 【参考】R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	11,100
	繰越	0
	補正等	0
	最終	11,100
決算額		8,835
対前年度増減額(決算)		△ 1,265

## 【参考】R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	12,000
主な経費	・飛騨高山大学連携センターの運営に対する助成 ・産学金官連携による新製品開発等に対する助成 ・大学等のゼミ合宿に対する助成	
	対前年度増減額(当初予算)	
	900	
	※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり	

## R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	12,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	12,000
決算額		9,407
対前年度増減額(決算)		572

## R5当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	12,000
主な経費	・飛騨高山大学連携センターの運営に対する助成 ・産学金官連携による新製品開発等に対する助成 ・大学等のゼミ合宿に対する助成	
	対前年度増減額(当初予算)	
	0	
	※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり	

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <p>《大学連携センターの運営に対する助成》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学活動を誘致する大学コミッション事業により18大学、大学教授や学生を252人受け入れ、コロナ禍における取組みとして実施したリモートによる講義・報告会に264人が参加</li> <li>・SDGsの推進に向けた取組みや持続可能な観光まちづくりに向けた取組みなど、大学の高度で専門的な知見を活用した自治体シンクタンク事業を推進</li> <li>・飛騨地域をフィールドに調査研究を行う大学関係者や地元高校生が集い、研究成果等を発表する「第3回～繋がるキャンパス～飛騨高山学会」を開催</li> <li>来場者約400人、ライブ映像視聴者延べ約200人</li> </ul> <p>《産学金官連携による新製品開発等に対する助成》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績 0件</li> </ul> <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学連携センターによる大学活動への支援により、学生を高山への呼び込むとともに、大学関係者と市民とを繋ぐことができた。</li> <li>・大学と連携した調査研究により、地域の魅力向上や課題解決に向けた取組みを進めることができた。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、大学活動の誘致や大学と連携した調査研修、市の施策形成への活用を進める。</li> <li>・ポストコロナ社会を見据え、飛騨高山大学連携センターと連携しながら、市内における大学活動の積極的な誘致を図る。</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <p>《大学連携センターの運営に対する助成》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市における大学連携の着実な推進を図るため、大学連携センターの運営に対する支援を行う</li> <li>○大学連携センターの事業内容             <ol style="list-style-type: none"> <li>①自治体シンクタンク事業 大学が保有する高度で専門的な知見を活用した調査・研究活動を実施</li> <li>②大学コミッション事業 大学が実施するフィールドワークやゼミ合宿、インターンシップなどの様々な活動を積極的に誘致するとともに、その活動を支援</li> </ol> </li> </ul> <p>《産学金官連携による新製品開発等に対する助成》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内中小企業が大学等や金融機関と共同し、又は異業種グループを組織し行う新製品・新サービスの研究開発の費用に対する支援を行う</li> </ul> <p>《ゼミ合宿に対する助成(R4拡充)》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学等や大学生の視点による地域課題の解決や市内での潜在による新たな飛騨高山ファン(関係人口)の創出などを目的に、市内における活動を促進するため、大学等によるゼミ合宿に対する支援を行う(支援制度の拡充)             <ol style="list-style-type: none"> <li>①補助金額 1人あたり1千円⇒ 1人あたり1泊につき1千円に拡充</li> <li>②対象 10人以上 ⇒ 団体内で延べ10人泊以上に要件緩和</li> </ol> </li> </ul> <p>[スケジュール]</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <p>《大学連携センターの運営に対する助成》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学活動を誘致する大学コミッション事業により32大学、大学教授や学生を820人受け入れ、コロナ禍における取組みとして実施したリモートによる講義・報告会に223人が参加</li> <li>・持続可能な観光まちづくりに向けた取組みなど、大学の高度で専門的な知見を活用した自治体シンクタンク事業を推進</li> <li>・飛騨地域をフィールドに調査研究を行う大学関係者や地元高校生が集い、研究成果等を発表する「第4回～繋がるキャンパス～飛騨高山学会」を開催</li> <li>来場者約400人、ライブ映像視聴者延べ約240人</li> </ul> <p>《産学金官連携による新製品開発等に対する助成》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績 0件</li> </ul> <p>《ゼミ合宿に対する助成》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内における大学活動を促進するため、大学等によるゼミ合宿に対する支援窓口を飛騨高山大学連携センターに変更し、支援内容を拡充(15大学 534人泊分を助成)</li> </ul> <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学連携センターによる大学活動への支援により、学生を高山への呼び込むとともに、大学関係者と市民とを繋ぐことができた。</li> <li>・大学と連携した調査研究により、地域の魅力向上や課題解決に向けた取組みを進めることができた。</li> <li>・ゼミ合宿に対する助成の窓口を大学連携センターに変更したことにより、市内で活動したい学生等に効果的な支援を行うことができた。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、大学活動の誘致や大学と連携した調査研修、市の施策形成への活用を進める。</li> <li>・飛騨高山大学連携センターと連携しながら、市内における大学活動の積極的な誘致を図る。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <p>《大学連携センターの運営に対する助成》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市における大学連携の着実な推進を図るため、大学連携センターの運営に対する支援を行う</li> <li>○大学連携センターの事業内容             <ol style="list-style-type: none"> <li>①自治体シンクタンク事業 大学が保有する高度で専門的な知見を活用した調査・研究活動を実施</li> <li>②大学コミッション事業 大学が実施するフィールドワークやゼミ合宿、インターンシップなどの様々な活動を積極的に誘致するとともに、その活動を支援</li> </ol> </li> </ul> <p>《産学金官連携による新製品開発等に対する助成》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内中小企業が大学等や金融機関と共同し、又は異業種グループを組織し行う新製品・新サービスの研究開発の費用に対する支援を行う</li> </ul> <p>《ゼミ合宿に対する助成》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学等や大学生の視点による地域課題の解決や市内での潜在による新たな飛騨高山ファン(関係人口)の創出などを目的に、市内における活動を促進するため、大学等によるゼミ合宿に対する支援を行う</li> <li>補助金額 1人あたり1泊につき1千円</li> <li>対象 団体内で延べ10人泊以上市内に宿泊すること</li> </ul> <p>[スケジュール]</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業シート(令和4年度決算)

事業名	20960 若者等活動事務所管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	1	総務管理費		根拠計画			
			目	9	企画費					
担当課	総合政策部 総合政策課	内線	2434							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>次代を担う若者たちが地域でいきいきと暮らし、活動することを通じ、飛騨高山への誇りと愛着を育む。</li> <li>伝統的建造物群保存地区及び周辺の景観に配慮された美しい町並みを維持する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>村半(若者等活動事務所)の管理運営を行う。</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

	R3	R4					
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)	4,964	3,827	4,800	5,250	4,378	551	
特定財源							
国費(若者等活動事業費 1/2)		1,860	2,400	2,400	2,171	311	
県費							
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	3,000	1,880	1,000	1,000	1,000	△ 880	
一般財源	1,964	87	1,400	1,850	1,207	1,120	
個票枝番	主な事業内容						
	施設の管理運営	4,964	3,827	4,800	5,250	4,378	551

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		5,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
6,800	6,800	6,800	2,000	
			△ 2,400	
	100	3,100	2,100	
6,800	6,700	3,700	2,300	
査定額	説明			
6,800				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>来所者数 16,344人(1日平均59人)、開所からの延べ31,603人</li> <li>利活用検討会の開催(5回)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内高校生や中学生の自主学習やリモート授業での利用のほか、若者が自発的に活動している各種プロジェクトの打合せなど様々な目的で利用されている。</li> <li>県内外からの視察や教育旅行の受入れなど、市のPRの場所としても活用が図られている。</li> <li>地域の方々には施設の利用をはじめ、施設内の植栽等への助言や、地域の季節行事に参加させていただくなど、良好な関係を築くことができている。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>更なる利用促進を図りながら、引き続き適切な管理運営を行う。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>来所者数 22,290人(1日平均72人)、開所からの延べ53,893人</li> <li>利活用検討会の開催(5回)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内高校生や中学生の自主学習やリモート授業での利用のほか、若者が自発的に活動している各種プロジェクトの打合せなど様々な目的で利用されている。</li> <li>県内外からの視察や教育旅行の受入れなど、市のPRの場所としても活用が図られている。</li> <li>地域の方々には施設の利用をはじめ、施設内の植栽等への助言や、地域の季節行事に参加させていただくなど、良好な関係を築くことができている。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>更なる利用促進を図りながら、引き続き適切な管理運営を行う。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和4年度決算)

事業名	25100 統計調査事務費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性		市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略		
			項	5	統計調査費				
			目	1	統計調査総務費		根拠計画		
担当課	総合政策部 総合政策課	内線	2434						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計的視点から市の現状を理解する。</li> <li>統計調査結果を研究活動等様々な分野で活用する。</li> <li>政策立案の基礎となる統計調査業務の円滑化を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計調査に従事する調査員を確保するとともに、調査員の資質向上のための研修を実施する。</li> <li>各種統計における高山市に関する数値を取りまとめ、「高山市のあらまし」として公表する。</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R3		R4			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		140	117	140	140	117	0
特定財源	国費( )						
	県費( 統計調査員確保対策事業費 )	27	27	27	27	27	0
	その他( )						
一般財源		113	90	113	113	90	0
個票枝番	主な事業内容						
	事務費	140	117	140	140	117	0

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		-
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
140	140	140	0	
27	27	27	0	
113	113	113	0	
査定額	説明			
140				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の為、統計調査員研修会未開催</li> <li>「高山市のあらまし」の印刷・発行(150部)、市ホームページでの公表</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種啓発により統計調査員を確保することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計調査業務を円滑に実施するため、引き続き統計調査員を対象とした研修を実施する。</li> <li>「高山市のあらまし」を引き続き発行するなかで、さらに見やすくわかりやすくするよう工夫する。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の為、統計調査員研修会未開催</li> <li>「高山市のあらまし」の印刷・発行(150部)、市ホームページでの公表</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種啓発により統計調査員を確保することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計調査業務を円滑に実施するため、引き続き統計調査員を対象とした研修を実施する。</li> <li>「高山市のあらまし」を引き続き発行するなかで、さらに見やすくわかりやすくするよう工夫する。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>要求どおり</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおりに</li> </ul>